

Ecology

環境仕様

車種仕様	車名・型式		三菱・4AA-B35W			三菱・5AA-B34W			三菱・4AA-B38W		三菱・5AA-B37W			
	駆動方式		2WD						4WD					
	類別		LTTZ		LTSG	LTRG	LTTZZ		LTSGZ	LTRGZ				
		T Premium	T	G Premium	G	M	T Premium	T	G Premium	G	M			
	エンジン型式	BR06インタークーラー付ターボチャージャー			BR06			BR06インタークーラー付ターボチャージャー			BR06			
	変速機形式	CVT												
排出ガス	適合規制または適合基準		平成30年基準排出ガス25%低減レベル			平成30年基準排出ガス50%低減レベル			平成30年基準排出ガス25%低減レベル		平成30年基準排出ガス50%低減レベル			
	規制値または基準値	NOx (g/km)	0.038			0.025			0.038		0.025			
	(WLTCモード走行)	NMHC (g/km)	0.075			0.05			0.075		0.05			
燃料消費率	JC08モード	CO2排出量(燃費換算)	(g/km)		24.8		28.0		29.4		22.4		25.0	
			(g/km)	94		83		79		104		93		
		WLTCモード	(km/L)	21.5		23.3		19.4		21.1		18.3		
燃料消費率	WLTCモード	燃費	(km/L)		17.9		20.7		16.5		22.9		21.4	
		(国土交通省審査値)※1※2	市街地モード	(km/L)		23.4		24.7		20.8		22.9		
		郊外モード	(km/L)	22.2		23.7		20.0		21.4		21.4		
	CO2排出量 WLTCモード(燃費換算)	(g/km)		108		100		120		110		110		
主要燃費向上対策		ハイブリッドシステム、可変バルブタイミング機構、自動無段変速機(CVT)、電動パワーステアリング、アイドリングストップ装置、バッテリーアシストシステム、充電制御												
参考 2020年度燃費基準		達成		+10%達成		+20%達成		-		達成		達成		
参考 2030年度燃費基準		75%		80%		80%		70%		75%		75%		
温室効果ガス		HFO-1234yf [GWP値:1] ※3: エアコン冷媒の使用量 (g)		350										
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値※4以下)												
車外騒音		適合規制		平成28年騒音規制(M1A2A)										
		加速走行騒音(適合規制値) (dB-A)		70										
環境負荷物質削減	鉛※5		自工会2006年目標達成(1996年平均使用量の1/10)											
	水銀※6		自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)											
	カドミウム		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)											
	六価クロム		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)											
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品		バンパー、インストルメントパネル、ヒラヤーニッシュ、エンジンアンダーカバー 等											
	樹脂・ゴム部品への材料表示		あり											
環境負荷物質使用状況等	リサイクル可能率		95%以上※7											
	鉛		電子基板、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)											
	水銀		全廃済み											
グリーン購入法	カドミウム		-											
	六価クロム		-											
グリーン購入法		-		適合		-		-		適合		-		

※1 燃料消費率は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急発進・エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定したモードです。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定したモードです。高速道路モード:高速道路等での走行を想定したモードです。※3 GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数) フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP値150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることが求められています。※4 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。※5 鉛(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) ※6 ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) ※7 ISO規格(22628:2002:AnnexA)に基づき算出。「自工会方式」に対し、リユースされる対象部品が、あらかじめ規定されており、材料リサイクル対象をその材料種別でとりきめているグローバル標準方式」